

白菜のカルテック栽培

(10アール当り)

時期	方法	資材
土作り	なるべく早い時期に	ラクトバチルス 600グラム … 深層まで通気の良い土にします 堆厩肥1トン以上 硫安 80kg (秋作の場合は100~120kg) ※もし通常の複合肥料なら、チッソ成分20~25kg
整地時	整地・ウネ作り時に全面散布、またはウネ上に散布	畑のカルシウム (または カルテックCa粒状) 60kg ※土壌pHによって、どちらかを選択してください。 (もし特に速く生長させたい場合は 硫安20kgを追加します)
育苗	散水時に使用	濃縮酵素液 1000倍 … 根を強くし、生長を促進 カルテックCa液状 1000倍 … 葉を厚くし、充実させる 4日間隔で交互に、葉の上からタツプリ散布します。
定植時	定植前後の灌水の時に	濃縮酵素液 500倍液 … 初期の根張り促進, 病害軽減
初期	葉面散布	濃縮酵素液 500倍液を葉面散布 (根・生長の促進) 前半は特に根の力をつけることが大事です。 特に生長が弱い場合, 黄化病・ウィルスの時は灌水を。 原液3~10リットルを灌水 (300倍前後) メガデルトン・ネオスリー 800倍で葉面散布 (チッソ補給) 肥切れ時に。 カルテックCa液状 500倍 (生育を引締め、葉の病害対策) チッソ過多、ゴマ症、ベト・軟腐の心配な時は、カルシウムを。
追肥	通常は定植後20日~30日頃 (作型・品種により調節)	硫安 20 (~40) kg
カルシウム追肥	追肥と同時に散布。結球開始までに施用	畑のカルシウム 20kg ※硫安とカルシウムを同時施用する場合は、混ぜたまま時間をおかないようにしてください。 (土壌pHがアルカリ化している場合は、カルテックCa粒状)
仕上げ	収穫前10日頃、葉面散布	カルテックCa液状 500倍 (葉を厚く充実させ、旨味を増し、品質を向上させます)



カルテック栽培の特長は
病気に強くなり、白菜がズッシリと重く、
食感はシャキシャキとして甘みがあります。